

ふくやまスマートシティモデル事業実行計画（福山市）

市の最重要施策である『福山駅前再生ビジョン／福山駅周辺デザイン計画』を、『ふくやまICT戦略』で位置付けられた“モビリティ”や“観光”の分野から推進。駅前再生さらには備後圏域の発展を通じて“新しい豊かさや安心・安全な暮らしを創造する未来都市”の実現を目指す。

目標	
・駅周辺歩行者数	平日 869人／日（2014年度） → 950人／日（2021年度） 休日 717人／日（2014年度） → 800人／日（2021年度）
・公共空間の活用件数	1件／年（2019年度） → 5件／年（2023年度）
・市民の交通環境に対する不満割合	21.1%（2016年度） → 21%以下（2022年度）
・総観光客数	7,269千人／年（2015年度） → 8,000千人／年（2021年度）
・観光消費額	32,140百万円／年（2015年度） → 36,600百万円／年（2021年度）
・都市再生推進法人の指定件数	0件／年（2019年度） → 4件／年（2024年度）

取組概要

- ① 中心市街地での新モビリティサービス等の導入**
 - ・福山駅前ウォークエリア内や拠点間の回遊性を高める新モビリティサービス等（自動運転、歩行支援型オンデマンドモビリティ、都市型MaaS）の実証
- ② 郊外部オンデマンドモビリティの導入**
 - ・都市部郊外や中山間部でのオンデマンドシステムによる新たな乗合タクシー事業（2019年実装）のエリア拡大、サービス拡大（郊外型MaaS）
- ③ ふくやま観光MaaSの導入**
 - ・主要な観光地（福山城、ばら公園、輛の浦等）を観光MaaSアプリにより、ワンストップでシームレスに楽しめる新たな観光サービスの実証
- ④ 都市・交通データの蓄積・活用**
 - ・日常・観光等サービス及び交通の情報発信・サービス提供や、駅前再生等のプランニング支援を可能とする都市・交通データの蓄積・活用

将来像

◆ふくやまICT戦略（2020年3月策定） 先端技術を活用した新たな都市づくり（Society5.0の実現）の戦略

[取組方針]

- ①次世代を担う人材の育成 ③実証実験の積極的な受入れと社会実装への挑戦
- ②民間企業等との共創 ④オープンデータ化（データの蓄積）

◆福山駅間再生ビジョン（2018年3月策定）／福山駅周辺デザイン計画（2020年3月策定）

◆ふくやまICT戦略（2020年3月策定） 先端技術を活用した新たな都市づくり（Society5.0の実現）の戦略

分野連携：観光、モビリティ、支払、医療・福祉・介護、教育、防災・安全、行政

スマートシティモデル事業による取組

新サービスの創出・社会実装

スマートシティモデル事業による取組

体制

外部との連携

【地域住民等】

- ・駅前商店街等事業者
- ・中心部周辺住民(来街者)
- ・ふくやまベスト運動会員（※）
- ・服部学区乗合タクシー運営委員会
- ・緑陽サポートチーム
- ・今後展開する郊外部の地域

先端技術によるまちづくり 官民協議会

【技術連携】

- ・シャープ(株)
- ・ソフトバンク(株)
- ・(株)シギヤ精機製作所
- ・(株)メディアテック中心

【地元大学】

- ・福山大学
- ・福山市立大学

【実施主体】

ふくやまスマートシティモデル事業コンソーシアム

- ・福山市
- ・モネ・テクノロジーズ(株)
- ・広島県タクシー協会東支部
- ・福山市バス交通利用促進協議会
- ・復建調査設計(株)

ふくやま観光MaaS実行委員会

- ・(株)日本旅行
- ・西日本旅客鉄道(株)
- ・(一社)せとうちPEDAL Life
- ・(公社)福山観光コンベンション協会

連携

スケジュール

～2020年度実装

2024年度実装予定